



おかむら通信 222号

令和5年10月号

ご挨拶

みなさん、お元気ですか。いつも外来でお会いするたびに、みなさんにお聞きしてありますが、この尋常でなかった夏の気候を耐えて、乗り越えられたにしても、ほとんどの方が、その影響を受けておられるように思います。今度は秋になって体が冷えるころ、免疫力・体力が低下した体に別のウィルスや細菌の攻撃に対してご自分の病気が悪化しないようにしなければなりません。一緒に乗りきってゆきましょう。

今月の言葉

なぜ、日本では総合診療（学）が浸透しないのでしょうか？ できるだけすべての患者さんを診る。世界では、ドクターとは、目の前の患者さんをまず見る、ということになっております。それには相当な気力と、努力が必要になりますね。私の原点はカナダで出会った、ユダヤ人、私より2歳年上で、頭は毛がかなりうすくなっていましたが、哲学・美術・音楽などの芸術をも学ぶ、ひげドクターでした。。。。

＜院長より＞

- *当院でのインフルエンザワクチン接種が10月2日から始まりました。
- *災害時、当院の院長が学校救護所の班長になりました。松飛台第2小学校に出向きます。学校救護所のほかに病院救護所というのがありまして、災害により受傷された方々、普段の病気が悪化された方々を救命するためです。
- *海外の医師の話、医師である前に、すべての人を尊敬し、助けるべく人間、したがって、単科（一つの科、一つの専門）だけ見ればいい、というのはあり得ません。総合的な医療を行えるべく、あらかじめトレーニングされています。オーストラリアがそう、香港の医師がそう、イギリスがそう、訪問見学した各国の医師がそう、でした。またイタリアには、精神病院がありませんでした。街中に精神疾患の方々が、当然のごとく存在します。一般の人、町が、市が、学校が、大学が彼らを受け入れているようです。
- *ふたたび、糖尿病の方に「病気の日」の考え方をご存じない方がたくさんいらっしゃいました。食事がとれない状況になった時、いま服用の糖尿病薬をやめることです。
- *インフルエンザもコロナもものすごい勢いで街中で猛威をふるい始めました。最近は何種会合、各種行事が再開しています。感染した時、若い方々はめったに生命の危険な状態には陥らないようですが、高齢の方、合併症をいくつも持っておられる方々の感染者には、専門家から生命のリスクが警告されています。ワクチンは打った方がよろしいでしょう。当院では、重症な新型コロナ感染者の方に、ゾコーバという抗ウィルス剤を処方しています。





*これからの世の中、格差が徐々に広がり、おたがいの差別意識が増大し、相手を尊重しない、受け入れない傾向が増えてゆくように思われます。一方的にだれが悪いというのではないと思いますが、以前にもお話ししたようにかっこいいことを言えば、i 多様性（ある集団の中に異なる業種、人種などが存在すること） ii 公平性（読んで字のごとく） iii 包摂性（様々な存在を受け入れること） の3つが大切かと思います。

お知らせ

きたる11月4日（土）院長の外来はお休みで庸介先生の代診となります。11月25日（土）は逆に庸介先生の外来はお休みで院長の代診となります。よろしくお願い致します。

もう一つ、トイレの手指の乾燥機が古くなったので、10月8日に交換をいたします。それまでご不便をおかけいたします。

<9月の院長の内外活動>

/03（日）「忘れないで大震災」市内の体制準備について／行政主催・医師会後援

/05（火）新型コロナワクチン説明会 行政と医師会向け

/06（水）「てんかんの地域医療について」小児・外科・内科の立場から

/07（木）糸東流 空手 稽古 馬橋市民会館にて

/09（土）午後 庸介先生の代診

/12（火）「喘息と最近のアレルギーの話題」 帝京大学呼吸器・アレルギーY教授

/14（木）糸東流 空手 稽古

/20（水）東葛病院本院 循環器内科 W先生と

/21（木）水泳教室 /糸東流空手 稽古

/22（金）「最新のSLEの情報について」東京大学アレルギー・リュウマチ学F教授

/26（火）「炎症性腸疾患と腸内細菌症」上尾中央総合病院 消化器内科T先生

/27（水）「脳腫瘍・脳卒中における抗てんかん薬の使い方 慈恵会医科大学/女子医科大学/東京医科歯科大学 先生方

/29（金）「パンデミックからエンデミックへ これからの新型コロナワクチンの接種」 講師M氏 医師・ジャーナリスト

/30（土）市川真間 弘法寺にて 月見の会



長く暑い日々から 澄みきった空に
変わり、心も晴れ晴れしますね。
私は食欲の秋一択ですが
皆さんも楽しい秋をお過ごし下さい。
宮田

